

【基本情報】

教科	芸術	学年	3年	教科書	高校生の美術2（日本文教出版）
科目	美術Ⅱ	単位数 （年間予定コマ数）	2 （64）	副教材	
科目概要	- 感性を高め、創造活動を通して美術を愛好する心情を育てる。 - 造形的要素を深く追求し、個性を生かして創造的な表現を追求させる。				
到達目標	- 造形的要素を深く追求し、主題に合った表現方法を工夫して表現できるようになる。 - 主題について自ら考え、アイデアを練り、創造的に表現することができるようになる。 - 多種多様な美術作品に触れ、その良さを感じ取り、自己の表現に生かすことができる。				
授業の進め方	ほぼ毎時間、実技が中心です。 プリントやDVD・スライド等による鑑賞をおこないます。				
留意事項	- 実技が中心なので、作品は出来る限り完成させて提出するようにしてください。 - 毎時間の取り組み姿勢を重視します。受け身にならず、集中して積極的に制作に取り組むようにしてください。 - 教科書、鉛筆（B、2B程度のもの）、消し具は毎回忘れずに用意してください。 - 絵の具、スケッチブックは美術室内に保管します。				
家庭学習	基本的に必要ありませんが、作業が遅れて時間内に完成できない場合は、家庭での制作が必要となる場合もあります。				
備考					

【評価の方法】

観 点	ポイント	割 合	評価項目
A. 関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現技法や美術文化に関心をもち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしているか。	10%	授業に取り組む姿勢や積極性を評価します。
B. 発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っているか。	30%	スケッチブック等のアイデアスケッチやメモ。作品の制作過程から評価します。
C. 創造的な技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能をも身に付け、主題にあった表現方法を工夫し創造的に表しているか。	50%	提出された作品をもとに評価します。
D. 鑑賞の能力	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わおうとしているか。	10%	鑑賞ノートなどの提出物で評価します。

【年間計画】

単 元	配当時数	学習内容	観点別評価				到達目標
			A	B	C	D	
静物デッサン	24	・ 観察による表現 ・ 質感描写 ・ 量と空間の把握 ・ 明暗の階調	○		○		・ 対象の部分を細かく観察することで美しい形や明暗を発見することができる。 ・ 量と空間のバランスを考えて構成することができる。 ・ 鉛筆の特徴を生かし美しい階調やタッチを工夫することが出来る。
鑑賞 現代のデザイン	6	・ 現代デザインの始まり ・ 生活と芸術の関わり	○			○	・ 現代のデザインのもとになった運動について理解し、日常生活の中でのデザインとの関わりについて理解を深め親しむことができる。
イラストレーション	34	・ 伝える内容を考え、資料を集める ・ 構想を練る ・ 意図に応じた画材の選択 ・ 個性的な表現方法の工夫 ・ 意図に応じた配色	○	○			・ 伝える内容を考え、アイデアスケッチで構想を練ることができる。 ・ 意図に応じて描画素材の選択し、技法を工夫して表現することができる。 ・ 色彩の表現効果を考え、配色を工夫することができる。
	64						